

令和5年度 第2回西尾市地域自立支援協議会 会議録

日 時：令和5年10月27日(金) 午後2時～午後3時35分

場 所：西尾市役所 51ABC会議室

欠席：有川委員、中嶋委員、稲垣委員、深見委員、小嶋委員、牧野委員

<参加者>

委 員：12名（西尾公共職業安定所は代理出席 中西）

地域アドバイザー 大南

部会長：中島地域支援部会長、藤田子ども部会長、福岡就労支援部会長、佐野権利擁護副部会長

部会事務局：社会福祉協議会 奥津、岡田

相談支援センターあると 伊澤、松園

めだか工房 岡本

福祉課：岩瀬課長、杉浦課長補佐、柵木課長補佐、板倉主任主査、原田(昌)主査、原田(英)主査

合計 28名

1. あいさつ 磯貝会長

出席のお礼。コロナが5類になったが、まだまだ感染者がいる。愛知県からはインフルエンザの注意報が出た。まだまだいろいろな感染症対策が必要となっている。

西尾市地域自立支援協議会は20年くらいやっているが、まだまだ取り組んでいかないとけない課題がある。特に、地域生活支援拠点について、医療的ケア児について、精神病患者の長期入院についてなど。そういったさまざまな課題に対してのご意見など、皆さまの協力をお願いしたい。

2. 議 題 会議の取り回し：磯貝会長

(1) 令和5年度西尾市障害者福祉計画実施状況について 説明：柵木課長補佐

- ・資料から一部を抜粋して説明。
- ・今年度が最終年度。

<質問：鎌谷委員>

Q. 実施状況の調査の時点はいつか。

A. (福祉課) 調査は今年の7、8月ごろに実施。

<意見>

- ・計画期間における達成状況について、特別支援学級発表会はR4年度とR5年度は実施している。そのため、記述内容が合っていない。
- ・今後の取り組みについて、特別支援学級発表会に親子で参加するとの記述があるが、特にそのような意向を聞いていないが、保育課の考えなど聞きたい。

<質問：瀧川委員>

Q. 計画の達成度について。目標が無いため、何をもって達成度を出しているのか。

A. (福祉課) 目標となる数値とかが無いため、実施したことに対して達成できたかどうかで達成度を出している項目もある。実施したが、まだ十分ではないことがあれば課題としてあげている。

Q. 障害者当事者団体について、今後の取り組みに、活動内容のマンネリ化と記載があるが、何かアンケートなどをしたのか。

A. (福祉課) アンケートはとっておらず、社協の担当者と話をして記載したため、どの団体がどうとか特に把握はしていない。

<意見：瀧川委員>

・今後の取り組みのところに、活動内容のマンネリ化が課題であれば、今後の活動について団体に期待することなど記載があると活動しやすい。

<質問：磯貝会長>

Q. 計画ができあがる前に自立支援協議会に提示があるのか。

A. (福祉課) 自立支援協議会内ではないが、パブリックコメントを実施する。

委員全員からの拍手があり承認。

(2) 令和5年度担当者部会活動状況について 説明：各部部长

<意見：田中委員>

(地域支援部会についての意見)

- ・親が亡くなってからグループホームに入りたいというが、すぐには入れない。そのような時にグループホームの空き部屋をショートステイ的なもので考えていけたら良いのではないかな。
- ・精神病の病院が施設的な役割をしていたことが過去にはあったが、今はなく、そのような精神病院に変わるようなところがない。そのため、面倒をみる家族に負担がかかっている。グループホームができたとしても、そうした人が安心して生活できるところがグループホームであると考えていった方が良い。
- ・グループホームは生活施設であるため、周りにコンビニがあるなど日常生活ができる環境の中になんかいけないと思う。そのため、どこにでもできれば良いものではないと考える。

<意見に対して：中島部部长>

- ・親亡き後でバタバタしないように、その前に行き先を一緒に決められると良い。また、地域についても生活が不自由にならないところで検討していければと思う。

<意見：芳賀委員>

- ・グループホームが知らないうちに市内にできており、もともと市外の住んでいた人が入っている。グループホームは地域密着型の補助施設であると思う。グループホーム建設の計画性がないように思える。
- ・グループホームが市内にどれだけあって、何人くらい入所しているのか、そういうことも把握する必要がある。需要の把握も必要。
- ・グループホームで食糧費の問題があったが、そういった問題に対して、県だけでなく市の関わり方も考えた方がよい。

<意見：磯貝会長>

- ・グループホームの認可権限は県が持つが、市が現状を踏まえた意見を県に伝えていって欲しい。

<意見：田中委員>

(就労支援部会についての意見)

- ・就労支援センターについての進め方について
就労支援センターが必要である。そのため、支援機関の取り組みについての「見える化」をする。本来は見える化にして、何が問題なのかなどを出し、就労支援センターが必要かどうか判断するのではないかと。どれくらいで明確化(何年計画など)されていくのか。
- ・就業面、生活面それぞれで相談できる場所を市でどう整えていくかが課題とあるが、その課題は市ではなく、就労支援部会で具体的にまとめるべきではないかと(問題点など)。
- ・事例を検討して、一般化して何が問題かを考えると良いのではないかと。

<意見に対して：福岡部会長>

- ・就労支援センターについての具体的なところはまだはっきりしていない。ただ、何が不足しているかを把握することが必要ということは部会内の共通認識としてある。具体的にいつまでにするかは、任期2年ということもあり、今年度は何が不足しているかを整理し、来年度に具体的にお金の面やどういう形でやるのかを検討していく。
- ・事例検討については部会内でも話が出ているが、具体的にどうするかはまだない。

<質問：磯貝会長>

Q. 市としては就労支援センターについてどのように考えているか。

A. (福祉課) 就労支援センターの設置については、就労支援部会で検討しているところなので、検討結果をまわって、就労支援センター設置に妥当性があれば予算化を進めていく。そのため、現段階で、福祉課では明確に設置していくとは考えてはいない。

<意見：芳賀委員>

- ・就労支援センターがあったら良いという意見がまとまったことは良い。

<意見：杉田委員>

- ・メリットやデメリットなど根拠となる資料の提示があるとわかりやすい。

<意見：磯貝会長>

- ・市に対して部会から資料の提供依頼があった場合は、資料の提供については協力いただきたい。

<質問：福岡部会長>

Q. 就労支援に関して、自立支援協議会を通して、ハローワークに資料の提供依頼はできるのか。

A. (ハローワーク)

- ・市内で求職登録しているかの数字などは可能。

委員全員からの拍手があり承認。

(3) その他

西三河南部西圏域地域アドバイザーの大南氏から

- ・福祉計画について、自立支援協議会の中で協議する市や西尾市のように策定委員会で協議し、自立支援協議会で連携し、情報共有をしている市、策定委員会と自立支援協議会がまったく分断している市もある。西尾市のように情報共有できていることはとても良い。
- ・グループホームの許認可は県ではあるが、日中支援型のグループホームを設置する事業所は地域の意見を受けて設置しないといけない。多くの市は自立支援協議会がその役割を担っている。
- ・基幹相談支援センターの設置についても西尾市も見えてきていると思うが、そういうところが柱になって、地域課題を自立支援協議会とともに進めていくことを期待している。

(事務局 原田主査)

第3回の会議は、3月15日を予定している。正式に決定次第、案内をさせていただく。

会議終了